



ながはま



だより

Vol.45

平成29年4月15日発行
発行：長浜市議会
編集：広報広聴委員会

平成29年3月定例会が3月2日から3月27日まで(26日間)の日程で開催されました。

平成29年度 当初予算を議決	2面
常任委員会での審査をお知らせします	3～4面
市政を問う(会派代表・個人一般質問事項と答弁概要)	5～12面
会派代表質問・個人一般質問の予定の公表	13面
「音訳版」議会だよりを発行しています	13面
議案に対する各議員の賛否	14面
長浜市子ども議会を開催しました	15面
第8回市民の皆さまとの意見交換会を開催します	16面
議会の動き、お知らせ、編集後記	16面

平成29年度 当初予算を議決

一般会計予算は、507億円（対前年度比0.9%減 4.4億円減）

合併後の交付税の縮減が進むなか、新「長浜市総合計画」に基づく【6つの政策】や【重点プロジェクト】等へ予算措置が行われています。※詳細は、市ホームページ等をご確認ください。

6つの政策を先導する事業 （主要事業から抜粋）

(1) 市民・自治 ～市民と共に創る～

- ・市民まちづくりセンター整備事業・・・・・・・・
1億8,800万円
北郷里・虎姫・余呉地域の市民まちづくりセンター（昨年度までの公民館）の改修等を実施

(2) 教育・文化 ～健やかで豊かな心が育つ～

- ・小中一貫教育校開設準備事業・・・・・・・・
9,137万円
余呉小学校・鏡岡中学校を施設一体型の小中一貫教育校に再編するにあたり、必要となる施設整備等を実施

(3) 健康・福祉 ～いきいきと温かく生きる～

- ・新生児聴覚検査費補助事業・・・・・・・・
450万円
県下初となる新生児聴覚検査の補助制度創設により、聴覚障害を早期に発見し、子どもたちの健やかな成長を促進

(4) 産業・交流 ～まちの魅力が光り活力に溢れる～

- ・農作業緊急対応支援事業・・・・・・・・
170万円
農業者に不測の事態が発生した場合においても、安心して農業経営ができる体制づくりを支援
離農、耕作放棄地の発生予防

(5) 安心・安全 ～不安なく穏やかに暮らす～

- ・消防本部庁舎建設事業・・・・・・・・
3億8,376万円
消防や救急、防災活動の根幹をなす新たな消防本部庁舎の整備費用を負担（組合構成市である米原市と分担）

(6) 環境・都市 ～水と緑に包まれ住まう～

- ・元浜町13番街区整備事業・・・・・・・・
9,464万円
市街地再開発事業を行う事業者への支援により、都市機能の更新・魅力創出・活力維持等を図り、持続可能なまちづくりの基盤を構築

重点プロジェクト （25事業から抜粋）

(1) 郷土に学ぶ「長浜人づくり」

- ・理系人材育成事業・・・・・・・・
772万円
小中学校授業の一環として、長浜バイオ大学と連携して実施する「長浜学びの実験室」を通じて、地域の産業や科学技術を担う理系人材を育成

(2) みんなで支える「子育て応援」

- ・みんな元気！あんしん保育促進事業・・・・・・・・
1億7,396万円
＜うちH28補正 6,000万円＞
保育所整備・保育士確保の支援により、多様化するニーズへの対応や園児の受入環境を充実

(3) 長浜まるごと「未来のシカケ」

- ・クリエイティブ人材によるローカルベンチャー創出支援事業・・
3,641万円
新たな感性・感覚を持つ人材の誘致・育成により、ローカルビジネス・ローカルベンチャー創出の仕組みを構築

(4) 身近な自然を生かす「地球環境との共生」

- ・長浜市森林ビジネス創出事業・・・・・・・・
728万円
木材の生産・流通・加工・販売に至る一連の取組の連携を図り、林業の6次産業化等の森林ビジネスを推進

(5) 人もまちも「結びの輪づくり」

- ・ジョブマッチング応援事業・・・・・・・・
326万円
都市圏の若者に対し、就活ナビ in 東京の開催やインターンシップの実施により、U・Iターンを促進

(6) 安心安全「地域で支えあい」

- ・市民活躍応援事業・・・・・・・・
5,482万円
地域づくり協議会や市民活動団体等の取組に対する支援・協働により、市民自らが活躍する組織づくりを推進

各常任委員会の報告

第1回定例会で付託された議案50件について審査を行いました。

長浜市保育士等確保 緊急対策基金条例の制定等を審査

総務教育常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、標記条例等13議案で、慎重審査の結果、いずれも全員一致で可決すべきものと決しました。

▼条例は、標記条例のほか、職員の配偶者同行休業に関する条例（第20号）、議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例（第21号）、事務分掌条例（第22号）、個人情報保護条例（第23号）、職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例（第24号）、特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（第25号）、手数料条例（第28号）、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例（第38号）の一部改正や制定です。

▼公共施設等の指定管理者の指定については、「六荘まちづくりセンター」、「神照まちづくりセンター」、「びわ体育館」の3施設に関して、3議案を審査しました。

▼その他、財産の処分について審査しました。

▼財産の処分にあたっては、相手側の業種や地域への社会貢献度に応じて、適切な配慮や可能な支援を行うなど、地域振興や地域の発展につなげていただくよう申し述べています。

長浜市税条例等の一部改正等を審査

健康福祉常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、標記条例等7議案で、慎重審査の結果、いずれも全員一致で可決すべきものと決しました。

▼標記条例の改正内容は、地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律等の一部を改正する法律等が公布され、消費税率の引き上げが延期されたことに伴い、本市条例を改正するものです。

▼その他の条例の改正内容は、多機能端末を利用した証明書の交付手数料の改正（第28号）や、国民健康保険法施行令の改正により、保険料の賦課限度額の引上げ及び軽減措置の拡大を行うもの（第30号）、新たに七郷小学校内に放課後児童クラブを開設するもの（第31号）、低所得者の介護保険料軽減措置について、消費税率引き上げが延期になったことから、現行の軽減措置期間を平成29年度まで延長するもの（第32号）、市立長浜病院の建物長寿命化と経営体質強化のために病棟改修事業を実施するにあたり、病棟編成の変更に伴う病室の用途変更を行うもの（第36号）、介護保険法施行規則の改正により、地域包括支援センター等に置かれる主任介護支援専門員に更新制が導入されたことに伴う改正（第39号）であり、6議案を審査しました。

長浜市簡易水道施設管理基金条例の 廃止等について審査

産業建設常任委員会

当委員会に付託を受けました議案は、標記条例等15議案で、慎重審査の結果、いずれも全員一致で可決すべきものと決しました。

▼標記条例ほか3議案は、水道事業の再編により、余呉・木之本簡易水道及び西浅井簡易水道事業の移管に伴う条例改正等です。これで、市内の水道事業は全て長浜水道企業団に移管されました。

▼その他の条例は、有害鳥獣捕獲指導対策指導員設置（第25号）や、建築物省エネ法施行（第28号）、長浜駅周辺のエリアマネジメント（第29号）、浅井勤労者憩いの家の廃止（第33号）、改良住宅新規入居者募集等（第34号）、豊公園駐車場の有料化（第35号）、旧長浜駅舎待合室特産品陳列場廃止（第41号）および長浜市江のふるさと振興基金活用事業の終了（第42号）に係る条例の一部改正や廃止です。

▼慶雲館及びつらお荘の指定管理者の指定について、赤川第1雨水貯留施設築造に係る工事請負契約について審査しました。

▼その他、議案以外の協議事項として、「長浜市下水道事業経営戦略の策定」について、当局から説明を受けました。

予 算 常 任 委 員 会

【審査過程において論議された内容のうち、特に付言すべきと考えられた事項】

（※議決結果は14頁を参照ください。）

▼放課後児童クラブ運営事業については、公営から民営への移行という方向性の中で、利用者のニーズを把握し、利用時間等も含め、柔軟な対応をしていただくこと（議案第2号）

▼林業振興対策事業については、過去数年、市産材の活用など種々取り組んで来ており、これまでの実績等を総括のうえ、目に見える形での結果を明らかにする時期にきているため、平成29年度予算の主要事業として、地方創生推進あるいは総合計画推進の重点プロジェクトに位置づけられた森林ビジネス創出事業等に大いに期待しており、今後、スピード感をもって上流域を担う企業体の誘致や、若手の担い手育成に取り組んでいただくこと（議案第2号）

▼長浜市病院事業については、欠損金が増えている状況を踏まえ医師確保等による収入増や経費削減に努め、さらなる病院改革を進めていただきたい。また病院経営については、積極的な情報公開をすること（議案第10号）

▼地域介護・福祉空間整備事業における介護施設等開設準備経費補助金について、選定された事業者の辞退は、利用者や他の事業者に影響を及ぼすこともあり、審査については、基準を明確にし、慎重な審査をすること（議案第12号）

▼長浜駅と「えきまちテラス長浜」とをつなぐベデストリアンデッキ整備事業においては、専用キュービクルの新設が急きよ判明したこと、その他設計変更が生じたこと、労務単価の上昇・資材費が高騰したことなど事業費の増および工事スケジュールの変更による完成納期の遅延が生じ、市民の期待を裏切る結果となった。以前からも指摘している事だが、改めて設計や工事監理等の専門的スキルの向上に努められ、緊張感を持った業務遂行が行われること（議案第12号）

▼今後、本市においても本格的に公会計が進む中で、フルコスト情報や予算化に対する透明化を図る必要がある。市民の信頼を得るためにも、詳細な予算の内容やコスト情報について、積極的な開示に努められること（予算全般）

【各分科会の審査過程において論議された事項（抜粋）】

【予算常任委員会 総務教育分科会】

まちづくりセンターの指定管理について、現在、8館が地域づくり協議会による指定管理となっているが、市直営の10館については、いつ頃、地域づくり協議会に指定管理とするのか、早期に進めていただきたいとの意見に対し、管理の主体は地域づくり協議会にお願いすることがまちづくりセンターに変更した趣旨でもあるので、指定管理を一刻も早く受けていただくよう働きかけを進めるとともに、地域づくり協議会が受け皿となるよう支援を積極的に行っていきたいと回答がありました。（議案第2号）

そのほか、公共施設の解体や用途廃止に伴う跡地利用については、地域住民や関係者等の十分なコンセンサスを得る必要性が論点になっており、当局は施設の跡地利用のみならず、何事に関しても市民と十分なコンセンサスを得て施策や事業の推進に努められたいと意見しました。

【予算常任委員会 健康福祉分科会】

国民健康保険について、国保料負担に関する質疑に対し、医療費の動向や決算状況に基づいて、被保険者にできるだけ負担がかからないように検討していく、また平成30年度から始まる都道府県単位化を見据え、適正な保険料率の改定あるいは据置を検討していくとの回答がありました。（議案第3号）

【予算常任委員会 産業建設分科会】

雪寒対策費について、今季の除雪に対する苦情にあつた、幹線道路と生活道路の間が山になってしまっている状況については、委託業者と直営路線との連携ができていないのではないかと考えられ、その対策に関しての質疑に対して、交差点や歩道、横断歩道において指摘の状況は確認しているところであるが、一定方向の除雪しかできない機械的な制約や、道路管理者が異なる交差点もあり、互いに連携しながら歩行者、横断者に支障がないよう十分注意していきたいとの回答がありました。（議案第2号）

市政を問う

今定例会では、会派代表5名・個人13名の議員が質問に立ちました。

会派代表質問（会派名） ※下記の質問項目のうち、太字部分について要約し、6～8ページに掲載しています。

- 西邑 定幸 議員（新しい風）
 - ①「長浜市総合計画」と平成29年度予算について
 - ②都市計画マスタープランにおける道路整備について
 - ③丹生ダム中止決定に伴う地域整備について ④義務教育について
 - ⑤長浜市病院事業の現状と地域医療構想について ⑥J R北陸線・湖西線の課題と今後について
 - ⑦市役所職員の業務遂行能力向上について
- 吉田 豊 議員（改革ながはま）
 - ①市長2期目最終年としての取り組み姿勢について
 - ②まちづくりと観光推進について ③地方公会計制度の活用について ④予算要望について
 - ⑤道路整備について ⑥長浜駅周辺整備について ⑦スポーツビジネスと地域振興について
 - ⑧公民館移行に伴う今後の役割について ⑨マイナンバーの汎用性について
- 竹内 達夫 議員（日本共産党長浜市議団）
 - ①合併の検証について ②市職員、教職員、病院医師の長時間労働について
 - ③温水プールの建設について ④長浜市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画（案）について
 - ⑤歩道の除雪について ⑥北新団地市営住宅の建て替えについて
- 森田 義人 議員（要）
 - ①子育て関連予算（114億）の費用対効果について
 - ②地域資源を生かす事業（地域おこし協力隊、森林ビジネス創出）の具体的効果内容について
 - ③旧市民会館跡地、旧高月中学校跡地の利活用方針について
 - ④藤井市長2期目マニフェストの総括について
- 東 久雄 議員（公明党）
 - ①市長最終年、チャレンジ&クリエーションの決意について
 - ②学習指導要領の改定案について ③道路陥没予防対策について ④保育士の待遇改善について

個人一般質問（掲載順） ※下記の質問項目のうち、太字部分について要約し、8～12ページに掲載しています。

- 竹本 直隆 議員
 - ①長浜市の空家等に関する条例施行について ②長浜市のプール環境について
 - ③外国人の児童、生徒について
- 中川 勇 議員
 - ①行き止まり道路及び狹隘道路への対応について
 - ②これまでの獣害対策の検証と更なる対策の強化について
 - ③市街地における屋外公衆トイレの利用制限について
 - ④認知症介護者のアクシデント時の対応について
- 浅見 信夫 議員
 - ①市民ニーズにあった財政運営について ②地域づくりの支援について
 - ③長浜市地域福祉計画について ④国民健康保険都道府県単位化について
 - ⑤核兵器廃絶に向けた取り組みについて
- 矢守 昭男 議員
 - ①高齢者の安心安全な生活のための支援について ②子ども議会について
- 鬼頭 明男 議員
 - ①中小企業の振興について ②喫煙しない環境づくりについて
 - ③長浜市民交流センターについて ④学校制服のリユースなど（再利用）について
 - ⑤旧湖北町と旧高月町の交通機関について
- 浅見 勝也 議員
 - ①奥びわこエリアの今後の地域振興について ②湖北の方言を活かしたまちづくりについて
- 草野 豊 議員
 - ①消防団員の教育と分団施設の整備について ②地域除雪の検証について
 - ③道路管理と地元要望について
- 押谷與茂嗣 議員
 - ①自己防衛から市民目線のコンプライアンスについて
 - ②縦割り行政から横断連携への仕組みづくりについて
 - ③市役所が地域のモデルとなるよう、職員を地域へと飛び出させることについて
 - ④管理職の立て直しと志のある職員の人材の再生について
 - ⑤健康福祉部長の2年間の総括について
- 山崎 正直 議員
 - ①雪寒体制について
- 鋒山 紀子 議員
 - ①がん患者へのアピアランス（外見）支援について
 - ②図書館を生かした街づくり、人づくりについて
- 西尾 孝之 議員
 - ①改良住宅の問題について ②田部の改良住宅問題について
 - ③湖北広域行政事務センターの問題について
- 中川リョウ 議員
 - ①超高齢社会に対する補助金等の対応について ②機構編成に伴う将来マネジメントについて
 - ③AED搭載収集車について ④ビワイチに対する取り組みについて
- 松本 長治 議員
 - ①新たな獣害対策の取り組みについて ②「全国植樹祭」開催に向けた市の考え方について



新しい風（西邑 定幸 議員）

◆「長浜市総合計画」と平成29年度予算について

問 人口が12万人を切った現実をいかに受け止め、重点施策と予算に反映させたのか問う。

答 総合計画は、総合戦略と人口ビジョンを包含する形でまとめました。地方創生に向けた様々な分野の取組を全庁で戦略的に実施することが重要であると考えます。まちづくりを先導する6つのプロジェクトを位置付け、これらを体现するべく予算編成を行いました。

◆滋賀県の道路整備計画について

問 滋賀県道路整備計画が5年毎の見直し年度であることを踏まえ、びわ大橋から湖周道路までの延伸工事の早期着工について問う。

答 長浜市の西部地域を南北に走る重要な幹線道路であることから、湖周道路までの延伸は優先的な課題であると考えます。滋賀県道路整備計画の見直しにおいて、しっかりと位置

付けられるよう強く働きかけます。

◆丹生ダム中止決定に伴う地域整備について

問 締結された協定書を踏まえて設置された地域整備協議会は、設立の目的に沿った会議体として機能しているのか問う。

答 地域整備実施計画の骨子素案の提案と検討まで進んでおり、その役割を果たしています。地元の皆さんの意向が十分に尊重され、地域振興に必要な事業が、誠意をもって一刻も早く着手されるよう強く求めています。

◆義務教育について

問 「知・徳・体」の教育実践は勿論、メンタル面の強さも必要と考えるが、どのように実践指導しているのか問う。

答 様々な教育活動を通じて、児童生徒の心を育て、基本的な生活習慣を育て、忍耐力や集中力など、将来の生活に必要な生きる力を身に着けるよう指導しています。

◆長浜市病院事業と地域

医療構想について

問 市立長浜病院・湖北病院と長浜赤十字病院が機能連携・役割分担した中期的な地域医療構想を策定すべきと考えるが、見解を問う。

答 長浜市総合計画でも地域医療体制の充実を位置付けています。3病院が持つ機能を効率的に活用し、中長期的な視点で検討し、地域医療体制の構築に取り組みます。

◆JR北陸線・湖西線の課題と今後について

問 北陸新幹線の全線開通時には、第3セクター化・廃線の危惧を持つが、打つべき施策と近隣市との連携について問う。

答 北陸新幹線のルートが小浜・京都に決定しましたが、並行在来線の経営分離は滋賀県・長浜市とも同意することはありません。一方、敦賀駅開業を好機と捉え、福井・滋賀県・敦賀・米原両市と一緒に、経済・観光両面での広域連携を目指します。



改革ながはま（吉田 豊 議員）

◆市長2期目最終年としての取り組み姿勢について

問 新年度の行政運営については、今後フルコスト情報や設計内容を示す必要があると考えるが、市長の行政運営の見解を問う。

答 未来に希望が持てる社会基盤作りが大切と考えています。夢と希望の湖北・長浜づくりを推進するため、「新総合計画」の体系的な事業の推進と、持続可能な行政基盤の構築の両立に向けた財政運営を進め、「未来の長浜市民に、よりよきものを引き継ぐ」ことを基調として、将来に向け取り組みます。

また、長浜市公共施設等総合管理計画において、直接的なコストだけでなく減価償却費等資産額を把握し、適切な保有量の調整やコスト削減を検討し、広く市民の皆様に丁寧な説明に努めます。

◆まちづくりと観光推進について

問 新たなまちづくりの推進については、長浜曳山まつりのユネスコ無形文化遺産の登録を契機にどのようなまちづくりを展開されるのか市長の観光ビジョン戦略を問う。

答 この登録は全市民の誇りであり、長浜の宝です。しっかりと継承・保存し、全国や世界に発信し活かしていきたいです。28年度に、新たな交流人口の拡大と、観光政策による地域経済活性化に向けた「長浜市観光振興ビジョン」を策定しました。官民が連携して「稼げる観光への転換」を図り、今後5年間で観光消費額を14%増の目標としています。曳山まつりをはじめ、観音や史跡等、長浜固有の文化財の利活用を推進していくことで、観光資源としての価値を高め観光消費の拡大を図っていきます。

◆地方公会計制度の活用について

問 公会計整理方針については、官庁会計では見えにくい資産や負債の情報、減価償却費、フルコスト情報をより精緻に把握し、開示することで行政の信頼性、透明性が高められると考えるが、本市の公会計の整備内容を問う。

答 国のマニュアルに基づき、総合的な基準による財務書類を作成し、整備を進めています。その目的や効果は質問同様の認識であり、丁寧な情報開示に努めていきます。

問 導入スケジュールと進捗状況を問う。

答 29年度に財務書類を作成し、情報開示に取り組んでいきます。

問 マネジメントへの活用について問う。

答 行政評価や予算編成に活用し、行政の効率化や持続可能な財政運営の実現に向けて取り組んでいきます。



日本共産党長浜市議団 (竹内 達夫 議員)

◆合併で人口減少が加速
(6,500人減)

問 「平成の大合併」

を推進した西尾勝前地方制度調査会会長(東大名誉教授)は、市町村合併や三位一体の改革が地方を惨憺たる状況に追いやったと、「平成の大合併」は失敗だったと認めている。「市町村合併をすれば地域は活性化する」という言説は否定された。合併により各支所の正職員は5~8人(合併前の浅井町役場は145人)と激減、合併前の役場は地域の若者の雇用に大きな役割を果たしており、数十億円の予算を執行していた。人口減が加速し、公共投資が市街地中心で山間地は取り残され、行政サービスの低下とともに地域活性化になっっていない。合併の検証をすべきだがいかがか。

答 人口減少は合併前からの行政課題であり、合併に由来するものでなく、行政サービスは後退していません。若い世代の転出が顕著です。若者の減少を食い止めることが地域活性化の課題で、公共投資は義務教育、高齢者福祉施策など地域に偏差なく進めています。2度目の合併から7年、ことさら住民意見の集約意味はなく、毎年市民満足度調査で9割の方が「住み心地が良い」と回答。「住み続けたい」は8割以上です。合併をした効果はしっかりと現れています。

◆長時間労働の解消について

問 地方公務員の2000年以降の15年間に

労災認定を受けた過労死は192人(市民病院移転時職場で過労自殺)。日本共産党は3月3日に「長時間労働

を解消し、過労死を根絶するために」の緊急提案を発表したが、市職員・長浜病院医師の時間外勤務(残業)の実態はどうか問う。

答 時間外が1ヶ月で最も多い職員は153時間、医師は203時間です。月80時間以上(過労死ライン)は、ともに40人です。

◆温水プール実現を

問 「2024年滋賀国

体に向けて水球の出来る温水プールの建設を」の28,094人の熱望署名から2年、水泳関係者も全て賛同しており、残るは市長の決断のみだがいかがか。

答 温水プールについては、民間活力の導入を探っています。北高跡地を整備候補地として県に提案しているところです。



要かなめ

(森田 義人 議員)

◆子育て関連予算(114億円)について

問 前年度より4.4

億円上積み予算の費用対効果(どのような方向を目指そうとされているのか)を問う。

答 子育て世帯から選ばれるまちを創造するための子育て支援策は地方創生の本丸であります。厳しい財政事情のなか、本年度は保育所整備や保育士確保、家庭での育児への支援、新生児聴覚検査費補助事業や子どもの放課後における健全育成支援事業を推進します。これまでに上に

子育て世帯が暮らしやすいまちを目指してまいります。

◆地域資源を生かす事業の具体的効果内容について

問 地域おこし協力隊に求める内容を問う。

答 本年度は10人を公募する予定、活動期間最大3年間、地域を変えていく、新たな地域づくりを目指すチエンジメイカーと考えております。

問 森林ビジネス創出事業の効果を問う。

答 森林マッチングセンターを母体として官民連携による木材関係事業者の横断的な情報の共有や資源循環の新しい仕組みをつくり、森林従業者数を10名増やし、一人当たり年間林業所得を350万円に設定し事業を進めます。

◆旧市民会館跡地、旧高月中学校跡地の活用方針について

問 今定例会に活用方針がなぜ示されなかったのかを問う。

答 市民会館の跡地は解体条件付き売却の

方針を示し、都市公園の取り扱いには現在改定中のみどりの基本計画で今後の進め方を示しているところです。高月中学校跡地は、市長から地方創生における人口

ダム的な位置付けで考えており、住宅用地としての考えを示しましたが、利活用の方針決定に向け地元のご意向を待っているところです。

◆藤井市長2期目マニフェストの総括について

問 2期目最終年に当たりマニフェストを問う。

答 2期8年の総仕上げの年として、継続は未来への力との熱い想いで全力で取り組んでまいります。



公明党 (東久雄 議員)

◆市長最終年、チャレンジ&クリエイションの決意について

問 旧8町地域のまちづくり地域振興策を問う。

答 特に旧8町地域に関連の深いものといえます。また、「地域おこし協力隊」などを活用したローカルベンチャー創出事業や、「小谷城スマートインターチエンジ周辺6次産業化拠点創出事業」、「森林ビジネス創出事業」、「北部地域総合体育館整備事業」、「(仮称)長浜北部学校給食センター整備事業」などを平成29年度予算案に盛り込みました。今後、財政運営が極めて厳しい局面を迎えるなか、合併算定替終了を見据えた財政の健全性維持や、中心地域と周辺地域が相互に役割分担し、連携

協力することにより、圏域全体として必要な生活機能等を確保するという「定住自立圏構想」の考え方に配慮しつつ、合併の効果を最大限に引き出すべく、予算配分を重点化していく必要性があるものと考えております。

◆学習指導要領の改定案について

問 正式教科全面実施までの準備期間の対応を問う。

答 英語教科化の全面実施に向け、まずまず小学校教員の英語指導力の向上が求められるなか、来年度より、英語教育推進事業において、外国人英語指導主事を置き、現場教員への専門的な指導を行うとともに、ネイティブに近い英語が話せ、教員と良好なコミュニケーションが図れる

る日本人英語講師を学校現場に配置する新体制のもとで教員の指導力向上を目指しております。具体的には、外国人英語指導主事が市内小学校を訪問しながら、学校現場で直接的に教員へのアドバイス、サポートを行い、具体的な研修を充実させていきます。また、担任教員を授業の核としつつも、専門的な知識をもった日本人英語講師や外国人指導助手とのチームティーチングを行い、指導しやすい体制づくりや指導のサポートを図り、教員のスキルアップにつなげていきます。



一般質問

長浜市の空家等に関する条例施行について



竹本 直隆 (新しい風)

問 特定空家について問う。

答 特定空家は35件認定されていますが、改善できていない相続人調査中のものが9件、居所調査中のものが3件、所有者と折衝中のものが5件あり、他の空家については少しずつ改善しています。

問 行政代執行について問う。

答 行政代執行については助言、指導、勧告命令を行っても改善されない場合、最終的には行政代執行を行わざるを得ません。

長浜市のプール環境について

問 木之本運動広場プールの廃止について十分議論されたか問う。

答 北部地域総合体育館整備事業に係る基本計画を策定する段階において、利用団体や地域づくり協議会等とプールの廃

止を含む施設のあり方については十分議論されたものと理解しています。

問 木之本運動広場プールを利用されていた市民に代替プールはないが、どのように対処するのか問う。

答 木之本小、伊香具小、木之本中の3校が利用されており、平成30年の夏季までは利用できますが、廃止以降は「長浜市民プール」「長浜市民浅井B&G海洋センタープール」を使用していただきます。

問 民間の持つ技術や経営力等のノウハウを利用し、更には資金調達を民間が行うことで公共施設の整備、維持管理をするPFI手法での温水プール建設についての検討、見解を問う。

答 温水プールにつきましては、PFI手法の整備ではなく、民設民営による整備で取り組んでまいります。

行き止まり道路及び狭隘道路への対応について！



中川 勇（新しい風）

高齢化の進行で住民不安は増大！火災時等の緊急車両進入を可能に

問 神照地区をはじめ各地域に放置状態の行き止まり道路の解消及び狭隘道路の拡幅整備促進に向けた現行補助制度での待避所設置への助成金等支援の考えについて問う。

答 神照地区をはじめ各地域に放置状態の行き止まり道路の解消及び狭隘道路の拡幅整備促進に向けた現行補助制度での待避所設置への助成金等支援の考えについて問う。

答 地域が取組みやすいよう制度の見直しを適時行っています。また、死亡した大型車については個人処理の負担も大きく全国的な課題のため、今暫くの時間を頂戴したい。

御旅所前公衆トイレの利用時間制限の廃止等について

問 宿泊滞在型観光を旨とする長浜市として使用不可は理解できない。今後どうするのか問う。

答 地元商店街等のご意見も伺いながら夜間開放の需要について検討してまいりたい。

これまでの獣害対策の検証と更なる対策強化について

問 地元自治会等の日常の地道な取組み強化はどうか。また、衝突事故にあったシ



市民ニーズにあった財政運営について



浅見 信夫（日本共産党）

問 来年度予算案では、財政計画を上回る市債の繰上償還がなされるが、市債の償還は平準化を図り、その財源で市民負担を軽減することについて問う。

答 来年度予算案では、財政計画を上回る市債の繰上償還がなされるが、市債の償還は平準化を図り、その財源で市民負担を軽減することについて問う。

問 社会保障費や投資的、政策的経費の財源を確保するため、計画的な繰上償還を進め、公債費を抑制していきます。

答 社会保障費や投資的、政策的経費の財源を確保するため、計画的な繰上償還を進め、公債費を抑制していきます。

問 今後増大する投資的経費の財源について問う。

答 今後増大する投資的経費の財源について問う。

問 本市では大型の普通建設事業を複数抱えており、長浜市公共施設等総合管理計画に定めている事業であっても、実施を見送ることも考えていく必要があります。

答 本市では大型の普通建設事業を複数抱えており、長浜市公共施設等総合管理計画に定めている事業であっても、実施を見送ることも考えていく必要があります。

問 来年度予算案では、主要事業の中で「子育て

答 来年度予算案では、主要事業の中で「子育て

高齢者の安心安全な生活のための支援について



矢守 昭男（無会派）

高齢者の安心安全な暮らしを！！

問 運転免許返納者への支援について問う。

答 運転免許返納者への支援について問う。

問 乗合タクシー利用者への更なる充実支援について問う。

答 乗合タクシー利用者への更なる充実支援について問う。

問 高齢者の「認知症カフェ」利用による認知症予防について問う。

答 高齢者の「認知症カフェ」利用による認知症予防について問う。

問 公共施設等総合管理計画の具体化に伴い、地域住民の意見を聴く仕組みやそれを明示する必要性について問う。

答 公共施設等総合管理計画の具体化に伴い、地域住民の意見を聴く仕組みやそれを明示する必要性について問う。

問 そのような仕組みが必要であると考えています。

答 そのような仕組みが必要であると考えています。

中小企業の振興について



鬼頭 明男 (日本共産党)

問 学校給食の地産地消については、(仮称)長浜北部給食センターへの集約化で地元産の野菜の採用が減ると心配されているがいかがか。

答 現在、学校給食で使用している地元野菜の割合は、H28年度で28%、お米は長浜産を100%使用。なお、安定した学校給食の提供には、野菜も含めたすべての食材において、一定の数量、品質や規格などを確保し安定供給していかなければならないという課題がある。

りますが、H30年度の2学期から稼働予定の(仮称)長浜北部給食センターで使用する野菜について、可能な限り地元産の活用に向けてまいりたい。

問 災害に備えた、中小企業との連携について問う。

答 今年度、中小企業振興法を踏まえて、「長浜市産業振興ビジョン」の改定を行ったところであります。このビジョンに基づいて、市内の中小企業・小規模事業者と連携しながら、災害前の備蓄・供給力にも限りがあると推察されるため、「自助・共助・公助」のバランスをよく、強化してまいります。



奥びわこエリアの今後の地域振興について



浅見 勝也 (改革ながはま)

消えつつある貴重な地域資源に再び光を当てましょう。

問 (1) つづら尾崎エリアの整備方針 (2) 奥びわ湖パークウェイの整備 (3) 恋人の聖地の事業展開 (4) 市道及び湖北隧道の整備 (5) 月出集落の文化的景観調査について問う。

答 (1) 「景観」をキーワードに「保全と創造」に取り組みます。(2) 県の整備計画にさらに強く要望してまいります。

(3) 今まで以上に魅力ある発信に努めていただく。(4) 総合的に判断



して今後の方針を決定します。(5) 「長浜市歴史文化基本構想」の中での保全を考えていきます。

問 (1) 歴史文化面での調査・研究 (2) 学校教育面での活用 (3) 観光振興面での活用 (4) 職員の日常執務での活用について問う。

答 (1) 「長浜市歴史文化基本構想」にて無形文化財として調査・研究しその成果を報告します。

(2) 市全体として学習せず、各学校の創意工夫を大切にします。(3) 長浜の地域資源として、その活用を検討していきます。(4) 使い分けの選択が必要であり、丁寧でわかり易くを基本として親しみのある言葉で伝えます。

消防団員の教育と分団施設の整備について



草野 豊 (改革ながはま)

問 消防団員の教育について、災害の初動体制に欠かせないのが、消防団員の方々の結束だと考える。消防団に加入されてから、団員の活動の教育はどうか問う。

答 車庫と共に消防団員待機の和室やトイレ、ホース乾燥施設等を備えたものを標準仕様として、一定の基準に地域特性を加味した施設を、優先順位を付け進めるとして、消防団幹部会議にて、ご理解を得ているところであります。老朽化度合から、優先的に整備すべき6施設、次に優先すべき居室やホース乾燥塔等が無い17施設、現状の維持に努める12施設として振り分けております。整備方針に基づき条件が整った所から、整備を進めてまいります。

問 分団屯所等の整備について、耐震基準・老朽化・駐車場・ホース管理施設・休憩所の充実等、今後の整備計画を問う。

答 車庫と共に消防団員待機の和室やトイレ、ホース乾燥施設等を備えたものを標準仕様として、一定の基準に地域特性を加味した施設を、優先順位を付け進めるとして、消防団幹部会議にて、ご理解を得ているところであります。老朽化度合から、優先的に整備すべき6施設、次に優先すべき居室やホース乾燥塔等が無い17施設、現状の維持に努める12施設として振り分けております。整備方針に基づき条件が整った所から、整備を進めてまいります。



自己防衛から市民目線の コンプライアンスについて



押谷與茂嗣（無会派）

問 市民目線で思いやりのある対応が大事と考えるが、改めてコンプライアンスの取り組みの目指すところについて問う。

答 法令遵守を基本とし、市民の視点に立って対応していくことが重要であると考え、絶え間ない努力を続け、常に事業の改善、向上を目指していかねばならないと考えております。これまでの取組を一步前に進め、職務遂行上のリスクを組織全体で管理し、職員一人ひとりが自信を持って仕事ができ、不祥事防止や風通しの良い職場風土づくりを行っていきたいと考えています。

縦割り行政から横断連携への仕組みづくりについて

問 横断的な組織や職員の結合、管理職の立て直しと志のある職員の人材の再生については、市の発展に繋がると期待するが、成果等について問う。

答 これまで県立高等学校再編計画に対してや、小学校跡地施設の活用事業などで職員が連携し成果を上げてきました。平成29年度は、新たな部局横断型組織を中心に、長浜市総合計画に位置づけた重点プロジェクトを推進し、基本構想に掲げる「めざすまちの姿」の実現を目指します。

雪寒体制について



山崎 正直（新しい風）

問 今年度よりGPSを活用した除雪車運行管理システムを導入されたが、その効果はどうであったかを問う。

答 当システムは、現在時刻での除雪車の作業位置がわかることから、従来から多かった「今どこを除雪しているのか」「除雪が遅い」などの市民の問い合わせに対して迅速に対応ができており、除雪作業に対する理解・向上に大きく寄与し、システム導入の効果が発現できています。また運行状況は履歴としてデータ化されるので、シーズン終了後現状分析をし、除雪路線の検討資料として活用します。

問 道路除雪によって横断歩道や歩行者用道路等に堆積した雪の対策について問う。

答 交差点の除雪方法については、職員や委託業者に十分指導しているところですが、人力等で除去することまでの対応はできない状況です。今後は地域の方などの協力を得る体制づくりを検討してまいります。



がん患者へのアピランス （外見）支援について



鋒山 紀子（公明党）

問 長浜市のアピランス（外見）支援の現状について問う。

答 市立長浜病院のがん患者からの相談体制としましては、平成19年6月にがん相談支援センターを設置し、国立がん研究センター認定の認定がん専門相談員1名を含め、5人のがん専門相談員が平日の8時30分から17時15分まで相談を承っております。脱毛などの外見に関する相談は262件です。患者さんやご家族などなたでもご利用いただけるがん患者サロン・図書室「リビング」を設置し、「ウィッグ（医療用カツラ）や「ケア帽子」の展示のほか、「頭皮ケアとウィッグ」の公開講座を年に10回開催しています。

問 ウィッグ（かつら）購入費用の助成について問う。

答 医療の進歩によりがんの診断から5年後の生存率が6割を超える現在では、がんの治療を受けながら社会の中で生活しているがん患者の方も増えていきます。がんになっても、これまでどおり自分らしく安心してくらし続けるため、がん治療に伴う外見の悩みの軽減は、大変重要であると認識しております。一部の自治体では、ウィッグの購入費用助成の取り組みを実施しています。本市におきましても、がん患者会や関係機関からの現状把握に努めてまいります。

改良住宅の問題について



西尾 孝之（無会派）

問 改良住宅の適正化事務は、その後の活用等を考慮したうえで行うべきであり、無理やり取り上げ、管理コストも生じている空家改良住宅の管理、今後の活用について問う。

答 返還いただき空き家となっている住宅は17戸で、定期的なパトロールにより、施錠や破損がないか点検を行い、年数回の直営による除草作業等の適正管理に努めています。3月議会において条例の一部改正を行い、平成29年4月から一般公募を行います。

問 田部の改良住宅問題はどこまで改善できたのか問う。

答 先般、開発区域北

側での官民境界を確定できました。残りの開発区域の確定協議や、次の課題に対しても更に一歩踏み込んで順次取り組みを進めてまいります。

湖北広域行政事務センターの問題について

問 火葬場とごみ処理場と一緒にする計画について問う。

答 斎場の設置者である湖北広域事務センターの基本的な理念に沿って、双方の施設が見えないような配置、施設の出入口や経路を別にし、それぞれの利用者の動線が交わらないなど十分に配慮されたものであると考えております。

老人クラブ連合会補助金等の対応について



中川リヨウ（改革ながはま）

問 老人クラブ連合会補助金交付要綱について

は、長浜市の自治会数は426自治会だが、現在老人クラブ連合会に加入されている団体数は50%といった状況である。すでに、それぞれの自治会の環境やお年寄りの数も変化しており、本市の老人クラブ連合会の加入状況を考慮し、連合非加入の老人クラブについても一定の活動が認められる場合、補助金交付の対象とすべきと考えるが市長の見解について問う。

答 長浜市老人クラブ連合会は、単位老人クラブへの情報提供や支援、会員相互の交流を深める機会の提供、また老人クラブの意見が市の高齢者施策へ反映できるよう行政とのパイプ役を担っており、連合会に加入する単位老人クラブを確保し、連合会が継続できるように単位老人クラブに対する補助金の条件に連合会加入を要件としていきます。



しかしながら、今後議員の仰せの通り連合会の加入状況や、活動状況を踏まえ、過度な負担なく、持続的・発展的に高齢者の社会参加に向けた活動が実施していけるよう検討してまいります。

新たな獣害対策の取り組みについて



松本 長治（要）

問 昨年一年間における、長浜市管内での大型獣と車両との接触事故は、49件に上る。未通知を含めると、年間100件以上の事故が発生しているのではないかと考える。平成27年の法改正により一定の処置を講じ可能となった「夜間狩猟」は、非常に有効な手法と考えるがどうか問う。

答 「夜間狩猟」は一定、捕獲効率の向上が期待できると考えますが、捕獲する側の技量やノウハウの蓄積が必要で、安全対策の徹底も含め、実施に向けたハードルは高いと考えています。



問 「全国植樹祭」の開催に向けた市の考え方について

答 地域の森林資源に対する「こだわりとプライド」を取り戻すための方法の一つとして、次回県開催「全国植樹祭」の主会場となるよう積極的な取り組みを始めてはどうか問う。

答 県内最大の森林面積を有する本市は、「森林ビジネス創出」事業で、森を「ビジネス」と捉えた県内初の取り組みを始めた。県が招致を目指す2021年の春には、一定の成果を広くお示しできるタイミングであるとの見込みも踏まえ、「全国植樹祭」の主会場となるよう、働きかけてまいります。

会派代表質問・個人一般質問の予定の公表

平成 29 年 3 月定例会から、会派代表質問を年 2 回（3 月及び 9 月）に増加するとともに、より傍聴等をしていただきやすい環境づくりのため、事前に各質問日の発言人数を定め、予定表を公開しています。傍聴やライブ中継の視聴に是非お役立てください。

市議会ホームページ

会議等の開催

議会日程 のページ



平成〇〇年第〇回定例会

会派代表質問・個人一般質問予定表

事情により変更になる場合があります。

〇月〇日 (〇)	〇月〇日 (〇)	〇月〇日 (〇)
午前 10 時から	午前 9 時から	午前 9 時から
会派代表質問	個人一般質問	個人一般質問
1 会派〇〇 (代表〇〇)	1	1 0
	2	1 1
2 会派〇〇 (代表〇〇)	3	1 2
	4	1 3
3 会派〇〇 (代表〇〇)	5	1 4
	6	1 5
4 会派〇〇 (代表〇〇)	7	1 6
	8	1 7
5 会派〇〇 (代表〇〇)	9	1 8

※ 終了時間の目途は、午後 5 時です。

声の議会だより(音訳版)を ボランティアグループ「かなで」さんのご協力により発行しています

市議会では、視覚しょうがい等がある方にも「委員会審査内容や、議会での質問とそれに対する答弁、議案・請願などの審議結果、市議会の主な活動内容等」をお伝えするため、平成 28 年 1 月 15 日号 (Vol. 40) から、ボランティアグループ「かなで」さんのご協力により、声の議会だより(音訳版)を発行中です。

紙面版発行から多少お時間をいただきますが、ご希望の方は、議会事務局へご連絡いただければ、次号発行分からお届けすることができます。

音訳グループ かなで

「文字が読みたい。けれど見えない、読みにくい」視覚に障がいがある人たちの想い。その想いに応えたいと、音訳グループかなでは文字を声にして、CD やテープに録音しています。

文字による情報は当たり前ですが、視覚に訴えています。見えていないものを理解するには想像力が必要です。受け取る側もですが、音に変換する側にも必要となります。文章の書き手の思い、聴きやすいか理解しやすいか？文章にリズムはあるのか？下読みは声を出して、聞きやすく声が出せているのかのチェックをします。

面識のない視覚障がいの方に「〇〇さんやね」と、名前を告げていないのに声をかけられて、聴覚と記憶の良さに驚いたとメンバーの一人は言います。

かなでの活動を多様化していきたい、声のお届けの輪も大きくしていきたいと思っています。

平成29年長浜市議会第1回定例会議決結果表

賛否の分かれた議案

議案番号	案	件			新しい風								改革ながはま					日本共産党		要		公明党	無	無				
					佐金 利幸	阪本 重光	柴田 清行	竹本 直隆	轟保 幸	中川 勇	西邑 定幸	藤井 繁	山崎 正直	浅見 勝也	草野 豊	柴田 光男	中川 リョウ ウ	中島 康雄	吉田 豊	浅見 信夫	鬼頭 明男	竹内 達夫	石田 節子	松本 長治	森田 義人	東久 雄	鋒山 紀子	無 押合 與茂 嗣
第3号	平成29年度長浜市国民健康保 険特別会計予算	賛成 多数	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第5号	平成29年度長浜市後期高齢者 医療保険特別会計予算	賛成 多数	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第6号	平成29年度長浜市介護保険特 別会計予算	賛成 多数	可決	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 表内の「○」は賛成、「×」は反対を表します。 ※ 議長の柴田清行は採決に加わりません。
※ 会派名の「無」は、会派に属さない議員です。

賛成可決・承認・同意したもの

第1号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第4号） 専決第4号 平成28年度長浜市簡易水道事業特別 会計補正予算（第1号）	第29号	長浜市営駐車場条例の一部改正について
第2号	平成29年度長浜市一般会計予算	第30号	長浜市国民健康保険条例の一部改正について
第4号	平成29年度長浜市国民健康保険特別会計 （直診勘定）予算	第31号	長浜市放課後児童クラブ条例の一部改正について
第7号	平成29年度長浜市休日急患診療所特別会計予算	第32号	長浜市介護保険条例の一部改正について
第8号	平成29年度長浜市公共下水道事業特別会計予算	第33号	長浜市勤労者福祉施設条例の一部改正について
第9号	平成29年度長浜市農業集落排水事業特別会計予算	第34号	長浜市改良住宅条例の一部改正について
第10号	平成29年度長浜市病院事業会計予算	第35号	長浜市都市公園条例の一部改正について
第11号	平成29年度長浜市老人保健施設事業会計予算	第36号	長浜市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について
第12号	平成28年度長浜市一般会計補正予算（第6号）	第37号	長浜市附属機関設置条例の一部改正について
第13号	平成28年度長浜市国民健康保険特別会計補正予算 （第4号）	第38号	長浜市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を 定める条例の一部改正について
第14号	平成28年度長浜市後期高齢者医療保険特別会計補正予算 （第1号）	第39号	長浜市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る 人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
第15号	平成28年度長浜市公共下水道事業特別会計補正予算 （第3号）	第40号	長浜市簡易水道施設管理基金条例等の廃止について
第16号	平成28年度長浜市農業集落排水事業特別会計補正予算 （第1号）	第41号	長浜市特産品陳列場使用料条例の廃止について
第17号	平成28年度長浜市病院事業会計補正予算（第2号）	第42号	長浜市江のふるさと振興基金条例の廃止について
第18号	平成28年度長浜市老人保健施設事業会計補正予算 （第1号）	第43号	上水道料金等の徴収事務の委託の廃止に関する協議について
第19号	長浜市保育士等確保緊急対策基金条例の制定について	第44号	慶雲館本館等の指定管理者の指定について
第20号	長浜市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について	第45号	つづらお荘の指定管理者の指定について
第21号	長浜市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動 の公費負担に関する条例の一部改正について	第46号	六荘まちづくりセンターの指定管理者の指定について
第22号	長浜市事務分掌条例の一部改正について	第47号	神照まちづくりセンターの指定管理者の指定について
第23号	長浜市個人情報保護条例の一部改正について	第48号	びわ体育館の指定管理者の指定について
第24号	長浜市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び長浜市 職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	第49号	財産の処分について
第25号	長浜市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用 弁償に関する条例の一部改正について	第50号	工事請負契約について
第26号	長浜市特別会計条例等の一部改正について	第51号	公平委員会の委員の選任について
第27号	長浜市税条例等の一部改正について	第52号	教育委員会の委員の任命について
第28号	長浜市手数料条例の一部改正について	委員会提出 議案第1号	長浜市議会会議規則の一部を改正する規則

長浜市子ども議会の開催

平成 26 年の議会活性化検討委員会からの答申において、広報広聴委員会を設置し、議場の活用等を検討することとされ、開かれた議会を目指し議会改革を進めるなか、幅広くご意見を拝聴するとともに、議会の広報活動に努めています。

この度、長浜東ロータリークラブ様から「地域社会の指導者と子ども達との間で対話の場を作り出す」こと等を目的に**長浜市子ども議会**開催の提案がありました。市議会においても趣旨に賛同し、積極的に協力することとしました。

【開催趣旨等】

子ども議会は、長浜東ロータリークラブが主催され、市議会は議場の開放、子ども議会の運営支援、子ども議員の事前学習会（1/14 及び 2/4）における発言通告書の作成や質問手法の説明といった形で、協力を行いました。

「市議会議員の仕事を通じて、働くことの意義を考えてもらう」ことや、「議会制民主主義の理解や長浜市のまちづくりに関心を深めてもらう」ため、市政やまちづくりといった市役所の仕事に関する学習、政治のしくみ・社会参画といった主権者教育、子ども議員募集支援等について、市、教育委員会及び議会の3者が後援し、開催されました。（2/11 本会議開催）



子ども議員選出書交付（25 名）



議員のしごと等の説明



ワークショップ形式での学習会



子ども議長選出（3 名）



本会議



議長講評

子ども議員 発言項目

図書館の整備について／自然を使った観光スポットについて／富田人形文化の伝承について／避難後の食料について／ショッピングモールを作ることについて／避難場所について／学校の社会の学習について／大きな地震のときの市の対応／学校の授業について／通学路の安全安心について／大人も子どもも楽しめる遊園地／道路のゴミ問題について（ポイ捨て対策について）／ゆりかご水田について／河川の安全について／みんなの健康／楽しい長浜市について（大きい市民ホールについて）／町の安全対策について／びわ湖による災害について／学校の施設整備について／宮司町南の交差点の安全対策について／今後の AI 及びコンピューターとの共存について／ご当地グッズの販売について／学校のイベントについて／近隣の子ども同士の交流の場について／道路標識の改修事業について

【主催】

長浜東ロータリークラブ

【後援】

長浜市議会／長浜市／
長浜市教育委員会

第8回 長浜市議会 市民の皆さまとの意見交換会

長浜市議会では議会改革の一環として、市民の皆様に市政に関する情報提供や予算・決算の報告及び説明、議会に対する意見等をお伺いし、市民に開かれた議会を目指しています。

今回も26人の議員が2班に分かれて、意見交換会を開催いたします。

多くの皆様の参加をお待ちしております。

○予約は不要です。ご自由にご参加ください。

○キッズスペース・託児サービス（無料）を実施予定です。

（ご希望の場合は4月28日までに議会事務局へご連絡ください。）



【第1部】

平成29年度予算
常任委員会審査報告

【第2部】

テーマに基づく意見交換

【第3部】

自由な意見交換

と き: 平成29年5月19日(金) 19時～

場 所: 高月支所 3階 3-B会議室

と き: 平成29年5月20日(土) 19時～

場 所: 神田公民館 2階 和室

テーマ: 子ども・子育て支援について〔両会場とも〕

今後の会議予定（4月15日以降）

4月20日(木)	定例常任委員会	6月14日(水)～16日(金)	個人一般質問
5月18日(木)	定例常任委員会	6月19日(月)	産業建設常任委員会、予算分科会
10時～	産業建設常任委員会	6月20日(火)	健康福祉常任委員会、予算分科会
13時～	健康福祉常任委員会	6月21日(水)	総務教育常任委員会、予算分科会
15時～	総務教育常任委員会	6月23日(金)	予算常任委員会
6月 5日(月)	第2回定例会開会日	6月27日(火)	第2回定例会閉会日

※（日程は変更される場合があります。）

この他にも随時、議会運営委員会等が開催されます。詳しくはホームページまたは議会事務局でご確認ください。

議会の会議を傍聴しませんか

本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。
市民の皆さんから選ばれた議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

市議会のホームページを是非ご覧ください。

<http://www.city.nagahama.lg.jp/category/2-0-0-0-0.html>



▼春はまさにたけなわ、ここかしこを吹く風も桜色に染まって見える季節となりました。街は長浜曳山祭で、囃子の笛や太鼓の音で賑わっていることと思います。今年はユネスコ無形文化遺産登録を記念して全13基が御旅所に勢揃いします。全市民の誇りであり、宝の一つが増えました。

▼2月には、小学生による「長浜市子ども議会」が議場で開催されました。25人のこども議員は、日頃感じている様々な市政の疑問を子どもならではの素直で率直な感性で質されました。こうした体験を通じて、議会の仕組みや運営を知り、将来の長浜のまちづくりに関心が高める場となりました。

▼第1回定例会では、こうした将来を担う子ども達にツケを残さない健全財政、新たな感性を生かしみんなで将来を創るまち長浜を目指すべく市長の提案説明がされ、各会派代表質問が行われ、「長浜市総合計画」の実行年となる29年度予算を始め、新年度をスタートさせるための議案審議を行いました。▼私達議会も、新年度の行政が更に充実するように活動する責務があります。これまで以上に議論を行い、本質を見極め、行政チェック機能を高めるとともに、皆様のお声を拝聴し、政策に反映してまいります。

議会だよりにぜひお声をお届け下さい。
ながはま市議会 広報広聴委員会

TEL 651-6547